

## 令和2年度学校評価集計結果(教職員対象)

No.	質問事項	過年度との比較		
		今回	R1	H30
1	学校の教育目標は、生徒や地域の実態を考慮して設定している。	3.3	3.2	3.0
2	教育目標及び重点目標が全教職員に理解されている。	3.0	3.1	3.0
3	分掌の中で、教育目標や重点目標の具現化が図られている。	3.1	3.1	3.0
4	生徒の個性を伸ばし、進路希望の実現に結びつく教育課程を工夫している。	3.0	3.2	3.3
5	学校は、年間授業日数や各教科等の年間授業時数の確保に努めている。	3.5	3.5	3.0
6	学校及び生徒・地域の実態を考慮して、各教科・科目や特別活動等の履修単位数や選択科目が適正に定められている。	3.3	3.2	3.0
7	各教科においてICT機器を活用した授業の推進や教材の精選・工夫により、共通の指導目標の下、学力向上に努めている。	3.1	3.2	2.9
8	本校では、適切で明確な学習の評価基準があり、それに沿って適正に評価が行われている。	3.2	3.2	2.9
9	教科指導・ホームルーム運営に置いて、Classi等の学習支援ツールを積極的に活用している。	2.8	3.2	2.9
10	生徒指導のための役割分担や、協力体制は適切である。	3.1	3.1	2.7
11	全教職員の共通理解と協力により、身だしなみ・挨拶・言葉遣い・マナー等の指導が行われている。	3.0	3.0	2.8
12	生徒指導の方針を生徒や保護者に明確に示している。	3.0	3.1	2.9
13	問題行動の早期発見、その予防対策が日常生活の中で十分に行われている。	3.0	3.2	2.8
14	生徒の状況を的確に把握し、カウンセリングマインドを持った指導を行っている。	3.1	3.1	3.1
15	進路実現に関わる様々な情報や資料の収集に努め、迅速かつ適切な情報提供を行っている。	3.3	3.3	2.9
16	望ましい勤労観や職業観を身に付けられるような進路指導を行っている。	3.1	3.3	3.3
17	面接や個人指導など、生徒一人一人を大切にした進路指導を行っている。	3.4	3.4	3.2
18	保護者と進路決定のための相談活動が適切に行われ、進路指導の内容が保護者にも理解されるように努めている。	3.2	3.3	3.2
19	様々な分野で活躍している方々と連携し、生徒個々の進路実現を図るために積極的な支援活動を行っている。	3.2	3.3	3.1
20	健康調査や健康相談が十分になされている。	3.5	3.4	2.9
21	清掃要領や分担、清掃活動への指導は適切である。	3.0	2.9	2.8
22	校舎内外の清掃・環境美化はよくできている。	3.0	3.0	3.0
23	指導目標や方針が明確にされ、地域・学校及び生徒の実態に即した学校保健安全計画を作成し、適切に行われている。	3.3	3.3	3.1
24	非常災害に対処する施設・設備の維持、安全管理が組織的になされ、緊急体制が整備されている。	3.2	3.2	3.0
25	防災関係規定や非常事態発生時の対処要領がホームページ、メール等で教職員や生徒に周知されている。	3.4	3.1	3.0
26	各分掌が年度計画に沿って適切に機能している。	3.1	3.2	2.9
27	前年度の反省に基づき、各分掌・各学年・各種委員会等の組織機構や職務内容の見直し・改善が図られている。	3.0	3.1	3.0
28	日々の教育活動における悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係ができている。	3.1	3.2	2.8
29	生徒の人格を尊重し、生徒及び保護者・地域社会の信頼と期待に応えようとする雰囲気になっている。	3.0	3.2	2.9
30	職員会議や打合せ等が適切に行われ、会議の機能が十分いかされている。	3.2	3.2	2.5
31	職員会議で意見や質問が積極的に出されている。	2.7	2.7	2.9
32	校内研修会の方法、形態、時期は適切である。	3.1	3.2	2.9
33	教科会や相互授業参観を通じて、授業技術の習得や生徒の学習活動の充実に関し	2.9	3.1	2.9
34	研修活動の評価・反省が行われ、教育の改善・充実が図られている。	3.1	3.1	3.0
35	日常の教育活動に、地域社会の意見や要望を取り入れている。	3.0	3.1	3.2
36	地域社会等の活動に対して、協力的・積極的に行っている。	3.1	3.4	3.1
37	小・中学校や地域の関係機関との連絡・連携は適切である。	3.1	3.2	3.1
38	家庭訪問・三者懇談・家庭との電話連絡・各種通信等の充実により、保護者との	3.2	3.3	3.0
39	施設・設備・教材・教具の管理・整備が適切になされている。	3.1	3.1	3.2
40	学校の施設・設備の不具合は、すぐに修理している。	3.4	3.4	2.8
41	生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している。	3.1	3.1	3.1
42	学校行事が生徒にとって魅力あるものとするために、工夫・改善を行っている。	3.4	3.3	3.3
43	人権・同和教育講演会や人権だよりなどを通じて、効果的な啓発活動を行ってい	3.4	3.4	3.0
44	体罰やセクシャル・ハラスメントの防止等、人権尊重の姿勢に基づく生徒指導を	3.4	3.3	3.2
45	仕事の効率化やタイムマネジメントの意識を持って取り組んでいる。	3.0	新設	新設
46	ワークライフバランスを取り入れることで、仕事にやりがいを感じている。	3.1	新設	新設

1：全く思わない      2：あまり思わない      3：だいたい思う      4：大変思う